

教 県 第 8 2 7 号 平成28年12月26日

各市町村教育委員会教育長 各 県 立 学 校 長 様 各 教 育 事 務 所 長

埼玉県教育委員会教育長

埼玉県立学校職員服務規程の一部改正について(通知)

「埼玉県立学校職員服務規程の一部を改正する規則(平成28年埼玉県教育委員会規則第27号)」が平成28年12月26日に公布され、別紙のとおり平成29年1月1日から施行されることになりました。

つきましては、事務の取扱いを適切に処理するようお願いします。 なお、改正の概要等は下記のとおりです。

記

## 1 改正の概要

- (1) 学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部改正に伴う規定の整備
  - ア 学校職員(以下「職員」という。)が介護時間を受けようとするときは、介護時間により、校長にあっては教育長に、その他の職員にあっては校長に、それぞれ願い出ることを規定し、様式を追加した。

(第10条第11項、別表第3の8関係)

イ 職員が介護のため時間外勤務の特例措置を請求するときは、時間外勤務制限請求 書により、校長に請求することを規定し、様式を変更した。

(第17条の3第2項、第17条の3第3項、別表第6の6関係)

- ウ 介護のため時間外勤務の特例措置を請求した職員は、要介護者の状況に変更が生じた場合、育児又は介護の状況変更届により、校長に届け出ることを規定した。 (第17条の4第2項関係)
- エ 介護休暇の取得できる期間の拡大及び指定期間が規定されたことに伴い、介護休 暇簿の様式を変更した。(別表第3の7関係)

- (2) 地方公務員の育児休業等に関する法律及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正に伴う規定の整備
  - ア 育児休業等の対象となる子の範囲の拡大に伴い、育児又は介護の状況変更届に関する規定及び様式を変更した。

(第17条の4第1項第2号、第17条の4第2項第2号、別表第6の7関係)

- イ 育児休業等の対象となる子の範囲の拡大に伴い、育児休業承認請求書及び育児短時間勤務承認請求書の様式を変更した。(別表第6、別表第6の2関係)
- ウ 育児休業等の対象となる子の範囲の拡大に伴い、深夜勤務・時間外勤務制限請求 書の様式を変更した。(別表第6の6関係)
- ※上記(2)のアからウまでの「育児休業等の対象となる子の範囲の拡大」とは以下の1 から3までをいう。
- 1 特別養子縁組のための試験的な養育期間にある子
- 2 養子縁組を希望している里親に委託されている子
- 3 養子縁組を希望している里親として適当とされるが、実親等の同意が得られない ため、養育里親として委託された子

# 2 施行期日

平成29年1月1日

担 当:県立学校人事課学事担当 鯨井

電 話:048-830-6735

埼玉県立学校職員服務規程の一部を改正する規則

を狄のように改正する。埼玉県立学校職員服務規程(昭和三十二年埼玉県教育委員会規則第八号)の一部

第十条に次の一項を加える。

は、介護時間簿(別表第三の八)をもつて、校長にあつては教育長に、その他の1、職員が、勤務時間条例第十七条の二に規定する介護時間を受けようとするとき

職員にあつては校長に、それぞれ願い出なければならない。

いて同じ。) | を加える。を、「同条第四項」の下に「(同条第五項において準用する場合を含む。炊項にお第十七条の三第二項中「含む。」の下に「以下この項及び炊項において同じ。」

同条第三項を削る。第二項」の下に「又は第三項」を加え、同項第二号中「取消」を「取消等」に改め、第十七条の四第一項第二号中「取消」を「取消等」に改め、同条第二項中「前条

別表第三の七を炊のように改める。

		血																				
	1	日· 時間数	Н	盐	H	台	Ш	由	Ш	业	Н	由	Ш	抽	Н	盐	Ш	抽	Ш	垂	ш	推
H		噩	尔	尔	分	尔	安	尔	安	农	农	今	冬	尔	尔	尔	尔	尔	分	尔	农	1
			盐	曲	申	由	钟	中	中	盐	中	全	垂	華	華	中	華	中	申	中	華	1
			分~	分~	分~	分~	分~	分~	分~	分人	分一	分~	分一	分~	分~	分~	分~	分个	分~	分一	分~	1
#	州	盐	盐	盐	申	盐	抽	士	台	盐	垂	盐	盐	盐	金	盐	盐	垂	盐	垂	盐	ŧ
				<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>		/
1	3	ш		$\overline{}$	1	$\smile$		_				<u> </u>		_		$\sim$		_		_		,
			口毎日	口その他	口毎日	□その他	口毎日	口その他	口毎日	口その他	口毎日	□その他	□毎日	□その他	口毎日	口その他	口毎日	□その他	口毎日	口その他	口毎日	1 2 0 1.1.
CHI	顺	H	日から	田味ら	日から	田ま	日から	日まら	日から	日まら	日から	日まで	日から	田まって	日から	日ま日	日から	日まら	日から	日まで	日から	1
1	<u></u>		H	H	A	H	H	Ħ	田	H	月	H	H	H	H	田	A	H	H	Ħ	H	I
<u> </u>	4	年	#	本	年	年	サ	サ	年	サ	年	在	年	年	年	中	年	年	世	年	年	1
	<u> </u>	. 但																				_
IX:	温																					
中	<b>A</b>																					
		校長																				_
		年月日													,	•				•	11	
		年月日					00						t									

備考 1 承認の欄の職名等は適宜変更又は増減できること。

<sup>2</sup> 該当する口には14印を記入すること。

(第三面)

		孝																				
		備																				
	昰	日· 時間数	Н	盐	Ш	盐	н	盐	ш	並	Ш	盐	П	盐	Ш	盐	ш	盐	Ш	報	ш	盐
	賴		尔	尔	今	尔	今	尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔	安	尔	分	尔	农	令
	0	圓	盐	金	華	盐	业	盐	由	盐	盐	盐	盐	盐	盐	士	盐	盐	盐	盐	盐	拙
	袭		分~	分~	分~	分~	分~	分~	~~	分一	分~	分一	分~	分~	分~	分一	分~	分一	分~	分~	分~	4~
	消し	盐	軸	台	由	抽	盐	盐	盐	抽	抽	盐	台	由	台	盐	盐	盐	由	盐	盐	#
)	の取り	н	日から	日まり	日から	日まり	日から	日まで	日から	でまる	日から	日まら	H Av S	日まら	日から	日来に	日から	日また	日から	で ま E	日から	- F
×1.	顣	H	H	H	H	H	田	町	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	Ħ	田	H	Ш
1 X	*	年	年	年	年	年	年	中	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	世
	*	在																				
			1																			
	受理													ì						i		
		校長																				
		年月日																				
		× 年 年月日	T	•	1						3	•					1			2		

備考 受理の欄の職名等は適宜変更又は増減できること。

別表第3の8 (第10条関係)

錬 噩 世 攤 失

(表面)

	日 名					
羅	続 柄					
する事項	同居・別居の別	口同居口別居	<ul><li>要介護者の状態及び具体的</li></ul>			
	介護が必要とな	いた時期 年 月 日				
連続する3年の 年	年の期間 年 月 日から	年 月 日素	[ E			
承認請	水	器	休	の類	眉	ŧ
年月日 年月	月日 校長	匝	年 月 日		時間	W W
			年月日から □毎日	申	分~ 時	农
			年月 日まで 口その他	每 ( )	分~ 時	农
			年月日から □毎日	申	分~ 時	分
			年月 日まで 口その他	每 ( )	分~  時	农
			年 月 日から □毎日	由	分~ 時	今
			年月 日まで 口その他	每 ( )	分~ 時	今
			年月日から □毎日	由	分~ 時	分
			年月 日まで 口その他	由 ( )	分~ 時	农
			年 月 日から □毎日	由	分~ 時	农
			年月 日まで 口その他	每 ( )	分~ 時	分
			年 月 日から □毎日	報	分~ 時	分
			年月 日まで 口その他	每 ( )	分~ 時	安
			年月日から □毎日	報	分~ 時	分
			年月日まで口その他	44 ( )	4 ~ 4	4

承認の欄の職名等は適宜変更又は増減できること。 該当する□には 1/印を記入すること。 7 備考

(裏面)

供料																									
		分	尔	公	公	分	分	公	尔	分	公	公	尔	分	公	公	尔	公	尔	公	分	分	公	分	<b>(F</b>
目		垂	盐	盐	盘	幸	垂	盐	盐	申	盐	盐	幸	盐	世	盐	盐	華	盐	華	盐	申	盐	垂	#
等の期	時間	分~	~ 8	分~	分~	分~	分~	分~	分~	~ 你	~ 份	~ 次	分~	分~	分~	分~	~ 安	~	少少	~ 安	分~	分~	分~	~ 安	~ <
消し		业	盐	抽	台	報	士	盐	盐	盐	业	业	盐	華	世	盐	轴	轴	盐	盐	軸	報	业	轴	世
暇の取	Н	日から	田まる	日から	田米で	5 × Q H	田米で	B 23 G	田まる	日から	日まり	日から	田米は	B 25 G	日まで	H 20 5	日まで	H 13 5	田また	B 2 C	日まで	日から	田ま	日から	74
米	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	中田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
<b>→</b>	田																								
強																									
ĮΧ																									
	校長																								
田田田	年月日								·										•				•		
<b>冰</b>	年月日																						•		

備考 受理の欄の職名等は適宜変更又は増減できること。

○ 民 紙紙 代 ら ( 世) ○ 日 「第2条の2第3号」 必「第2条の3第3号」 と おる ′ 巨 紙 ら ( 世) ○ 日 「第2条の2第2号又は第3号)」 や 「第2条の3第2号又は第3号」 と おる ′ 巨 紙 ら ( 世) ○ 日 「(3)」 ら 太 と 「請求に係る子が特別養子縁組に係る監護期間中の者、養子縁組里親として委託を受け養育する者又は条例第2条の2に規定する者である場合にあつては当該監護期間が開始した日又は委託を受けた日、(4)」 や 号 べ や 。

別表第六の六及び別表第六の七を次のように改める。

沒	『夜勤務・時	間外勤務制	」限請求書	<u></u>		
					年	月 日
交長 様						
		学校名				
		職名	J	壬 名		
のため	<ul><li>勤務時間須</li><li>□第9条第</li><li>おいて資</li><li>□第9条第</li></ul>	を例 第2項(同 連用する場 第4項(同	合を含む。 条第5項	(a)	の制限を請	青求します。
氏	名					
続	柄					
生 年	月日		年	月	日生(口	出産予定日)
養 子 効 じ	縁 組 力 た 日		年	月	Ħ	
			年	月	日	
□有 □産 退	育が困難である 産前6週間( 週間)又は産行	5。 多胎妊娠@ 後8週間以	り場合に 人内である	あつて	は、14	□無
深夜勤務の制限	年年					
時間外勤 務の制限	年 □ 1年		から			
子が請求の際産予定日」 産予定日」 縁組の効力: めの請求の場	祭に出生して の□に <b>レ</b> 印を が生じた日」	いない場合 記入する 及び「子	合には、「 こと。	生年月	日」欄に出	産予定日を記
	交     氏続生養の生子開     (マーリー)     (マーリー) <td>交長 様</td> <td>交長 様 学校名 職 名   学校名</td> <td>交長 様 学校名 職 名 「</td> <td>学校名 職名 氏名 「深夜勤務 「時間外勤務 「時間外勤務 「動第9条第2項(同条第3項において準用する場合を含む。)」 「第9条第4項(同条第5項において準用する場合を含む。)」 「氏名 「続柄」 生年月日 年月 年月 年月 年月 年月 年月 年月 日本 年月 日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日 日本 日日 日本 日日 日本 日日 日本 日本</td> <td>交長 様 学校名 職 名 氏 名 「学校名 職 名 氏 名 「第9条第2項 (同条第3項に おいて第9条第4項 (同条第5項に おいて準用する場合を含む。)」 「新9条第4項 (同条第5項に おいて準用する場合を含む。)」 「氏 名 柄 生 年 月 日 年 月 日生(□ 表</td>	交長 様	交長 様 学校名 職 名   学校名	交長 様 学校名 職 名 「	学校名 職名 氏名 「深夜勤務 「時間外勤務 「時間外勤務 「動第9条第2項(同条第3項において準用する場合を含む。)」 「第9条第4項(同条第5項において準用する場合を含む。)」 「氏名 「続柄」 生年月日 年月 年月 年月 年月 年月 年月 年月 日本 年月 日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日本 日日 日本 日日 日本 日日 日本 日日 日本 日日 日本 日本	交長 様 学校名 職 名 氏 名 「学校名 職 名 氏 名 「第9条第2項 (同条第3項に おいて第9条第4項 (同条第5項に おいて準用する場合を含む。)」 「新9条第4項 (同条第5項に おいて準用する場合を含む。)」 「氏 名 柄 生 年 月 日 年 月 日生(□ 表

育児又は	介護の状況変	ご更届			
			年	月	日
校長様					
	学校名		職名		
		氏		名	
私は、下記のとおり 〔□ 深 夜 勤 務 □時間外勤務	の制限に依	系る子の養	育又は要	介護者	の介護
の状況について変更が生じたので届け	**				
   1 届出の事由					
1 佃田4/争田					
(1) 養育の状況の変更					
□ 子が死亡した。					
□ 職員の子でなくなった。					
□離縁□養子	子縁組の取消	□ 家	事審判事	件の終	了
□ 児童福祉法第27	条第1項第3	3号の規定	による措	置の解	除」
□ 同居しなくなった。					
□ 職員の配偶者で子の親であ	っるものが深る	友において	常態とし	て当該	子を養
育できる者に該当することと	たった。				
(2) 介護の状況の変更					
□ 要介護者が死亡した。					
□ 要介護者と職員との親族関	関係が消滅した	-			
(消滅の理由:		)			
□ 同居しなくなった。					
2 届出の事実が発生した日					
年 月 日					

室 玉

- 当分の間、所要の調整をして使用することができる。2.この規定による改正前の堵王県立学校職員服務規程、
- 2 この規定による改正前の埼玉県立学校職員服務規程に定める様式による用紙は、
- 1 この規則は、平成二十九年一月一日から施行する。

埼玉県立学校職員服務規程の一
一部を改正する規則
新旧対照表

(傍線の部分は、
改正部分)

埼玉県立学校職員服務規程の一部を改正する規則   新旧対照表	(傍緒の部分は、改正部分)
改正案	現行
埼玉県立学校職員服務規程	埼玉県立学校職員服務規程
第一条~第九条 (略)	第一条~第九条 (略)
(休暇)	(休暇)
第十条(略)	第十条 (略)
2~100(略)	2~10 (略)
、、、、動務時間条例第十七条の二に規定する介	(新設)
に、その他の職員にあつては校長に、それぞれ願い出なければならない。に、その他の職員にあつては校長に、それぞれ願い出なければならない。	
第十一条〜第十七条の二(略)	第十一条~第十七条の二 (略)
第十七条の三 (恪)  (育児又は介護を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限の請求)	第十七条の三 (佫) (育児又は介護を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限の請求)
助欠	勤务
レ人	
務の制限に関する請求をしようとするときは、当該請求をする一の期間に	るときは、当該請求をする一の期間について、その初日(以下この項及び
ついて、その初日(以下この項及び次項において「時間外勤務制限開始日」	次項において「時間外勤務制限開始日」という。) 及び期間 (一年又は一
という。) 及び期間 (一年又は一年に満たない月を単位とする期間に限る。)	年に満たない月を単位とする期間に限る。)を明らかにして、時間外勤務
を明らかにして、時間外勤務制限開始日の前日までに、時間外勤務制限請	制限開始日の前日までに、時間外勤務制限請求書(別表第六の六)をもつ
求書(別表第六の六)をもつて校長に請求しなければならない。この場合	て校長に請求しなければならない。この場合において、勤務時間条例第九
において、勤務時間条例第九条第二項の規定による請求に係る期間と同条	条第二項の規定による請求に係る期間と同条第四項の規定による請求に係
第四項(同条第五項において準用する場合を含む。次項において同じ。)	る期間とが重複しないようにしなければならない。
の規定による請求に係る期間とが重複しないようにしなければならない。	
3 (略)	3 (略)

							学	校名		П	<b>裁名</b>	I	E	名	
	氏		名						要	介護者の	状態及び具	体的	な介	護の「	为 容
	続		柄					dete	1回						
要介護者に	同居	・別場	舌の別		□ 同居	口別	居	弗	110						
関する事項	介護	が必要	更となっ	た時期					2回						
						年 月		第	3回						
						指 定 期	間の	申七	H .	指定					
		第	1回				第	2回				第	3回		
申出の期間	v l	中出日	本人印	校長	通算期間	車出の期間	申出申	本人印	校長	通算期間	申出の期間	申出日	本人印	校長	通算期間
年 月 日 年 月 日	200				л н	年 月 日から 年 月 日まで				ЛН	年 月 日から 年 月 日まで				Я В
葡考						備考					備考				
						指定期	間の	延士	Ę.,	短 縮					
		第	1回				第	2回				第	3回		
延長・短縮後 末日	Ø	申出日	本人印	校長	延長・短縮後 の 通算 期間	延長・短縮後の 末日	申出日	本人印	校長	延長・短縮後 の通算期間	延長・短縮後の 末日	申出日	本人印	校長	延長・短縮後 の通算期間
(年月日7 年月日					月日	(年月日から) 年月日まで				月日	( 年 月 日から) 年 月 日まで				Д П
備考						備考					備考				

	氏 名							要介護者							(表面)	別表第三の七
者に関事項	同・別居介護が必	□同		期年	居月	F		び具体的内容	な介護の							(表面)
休暇の非	期間の初日	から 1 年	年間月	日かり	5	年 月	В	連続する	- o to to							画
見する )期間	年	月	日から	年月	Ħ	月 (	日)	における の状態及	要介護者 び具体的							
売する の期間	年	月	日から	年 月	目	月 (	日)	な介護の	内容							
続する の期間	年	月	日から	年 月	Ħ	月 (	日)	連続するにおける	要介護者							現
計	月 (	日)	* 6 月	(180	日) を	越えない	、範囲	の状態及な介護の影								
承 認	届出		承	認		申請			休 暇	0	期	[8]				
年月日	年月日	校長				者印		年 月	H			時	間		日・時間	
7.7							年 月	日から	口毎日		時	分~	時	分	E	行
0.0	9.00						年 月	日まで	□その他 (	)	時	分~	時	分	時間	
20.2							年 月	日から	口毎日		時	分~	時	分	Ħ	
							年 月	日まで	口その他(	)	時	分~	時	分	時間	
							年 月	日から	口毎日		時	分~	時	分	日	
	* *						年 月	日まで	□その他(	)	時	分~	時	分	時間	
35-31							年 月	日から	口毎日		時	分~	時	分	В	
	* * *						年 月	日まで	□その他(	)	時	分~	時	分	時間	

の七(第二
_
_
画

別

(第二面)

備考

間

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

分

時 分

時

時 分

時間数

H

時日

時

H

時

Ħ

時

H

時

H

時

H

時

H

時

H

時

H

時

改 正

止 案

備考 1 承認の欄の職名等は適宜変更又は増減できること。

2 該当する□には レ印を記入すること。

承 認年月日

. .

....

. .

. .

2 ....

. .

. . .

. .

請 求年月日

. .

. .

. .

. .

. .

. .

. .

. .

校長

本人即

年

月

月

年

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年

年 月

年 月

年 月

年 月

月

月

日まで

日から

日から

日まで

日から

日まで

日から

日まで

日から

日から □毎日

□その他 (

□毎日

日まで □その他 (

日まで □その他 (

□毎日

□その他(

日から □毎日

日から □毎日

日から □毎日

日から □毎日

日まで □その他 (

日まで 口その他 (

□毎日

日まで □その他(

□毎日

□その他 (

日まで □その他 (

□毎日

□その他 (

H

時

時 分~

(裏面)

受理	届出	受	理	届出者		付	は 暇 の	取 消	し等	の期	間		備考
年月日	年月日	校長		印	年	月	日		時 間			日·時間	1/H 5
					年	月	日から	畦	分~	時	分	B	1
					年	月	日まで	畦	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	H	分~	時	分	н	
					年	月	日まで	H.	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	H	分~	時	分	H	
					年	月	日まで	H.	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	탡	分~	時	分	H	
					年	月	日まで	展	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	展	分~	時	分	F	
					年	月	日まで	畦	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	畦	分~	時	分	H	1
					年	月	日まで	H-	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	H	分~	時	分	日	-
					年	月	日まで	H	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	民	分~	時	分	Ħ	
					年	月	日まで	畦	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	展	分~	時	分	Н	
					年	月	日まで	展	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	展	分~	時	分	H	
					年	月	日まで	展	分~	時	分	時間	
					年	月	日から	財	分~	時	分	H	
					年	月	日まで	眼	分~	時	分	時間	
					年	月	目から	展	分~	時	分	В	
					年	月	日まで	財	分~	時	分	時間	

別表第三の七 (裏面)

現

行

		(第三面)	別表第三の七
正	改		

(第三面)

考

ı	F.	
	_	

案

備老	受理の欄の職を	, 等け適官変更	マは増減できること

受 理

受 理 年月日

. .

71.5

. .

. .

. .

. .

. .

届 出年月日

. .

. .

. .

. .

. .

.

. .

....

校長

護休暇の取消

月

月

月

月

月

暇の取

H

日から

日まで

日から

目まで

日から

日まで

目から

日まで

休

年

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年

年

本人印

消

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

分~

堋 間

分

分

分

分

間

時

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時

時 分

時 分

時 分

時 分

時 分

時

時 分

時 分

時 分

時 分 日· 時間数

Ħ

時

Ħ

時

日

時

H

時

H

時

H

時

Ħ

時

Ħ

時

日

時

月

時

0

(新設)

現

行

介 年の期 年 請 求 年月日	月日		同居時期	□ 80												別表第三の八
項 月 介 年 の 期 諸 末 年 月 日	同居・別居の ・護が必要 間 月 日	となった	時期	□别	P. C.						- 11					
項 月 介 年 の 期 諸 末 年 月 日	護が必要	となった	時期	口別	177											
介 年の期 年 請 求 年月日	護が必要	となった	時期		居		で護者									表
年 請 求 年月日	月日	から	- 4				をび具 个護の									(表面)
請 求年月日		から		F ).	H H	-		-1								
年月日		承	年 認	月	日まで 本人				休 暇	Ø)	期	間				
	校長	718	BC		印		C	年 月			791	時	間		備考	
						年	月	日から	口毎日		時	分~	時	分	1	
• •						年	月	日まで	口その他	( )	時	分~	時	分		
		-				年	月	日から	口毎日		時	分~	時	分		
						_				( )						
										( )						
						年	月	日から	口毎日		時	分~	時	分		
						年	月	日まで		( )	時	分~	時	分		
						年	月	日から	口毎日		時	分~	時	分		
-						年	月			()	時	分~	時	分		
										( )				77.7		
							_			( )						
										( )						
																(新設)
																$\odot$
	************************************	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	年年年 年 中 年 中 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 年 月 年 月	年 月 日まで 年 月 日から 年 月 日まで 野談の欄の職名等は適宜変更又は増減できること。	# 月 日まで □その他 # 月 日から □毎日 # 月 日まで □その他 # 月 日から □毎日 # 月 日から □毎日 # 月 日から □毎日 # 月 日まで □その他 # 月 日まで □その他 # 月 日まで □その他 # 月 日まで □その他 # 月 日から □毎日 # 月 日まで □その他	年 月 日まで □その他( ) 年 月 日から □毎日 年 月 日まで □その他( ) 年 月 日まで □その他( ) 年 月 日まで □その他( ) 年 月 日から □毎日 年 月 日まで □その他( ) 年 月 日から □毎日 年 月 日まで □その他( ) 年 月 日から □毎日 年 月 日まで □その他( ) 年 月 日から □毎日 年 月 日まで □その他( )	# 月 日まで □その他( ) 時	# 月 日まで □での他( ) 時 分~ # 月 日から □毎日 時 分~ # 月 日まで □その他( ) 時 分~	年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 時 分~ 時 日 まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 日 まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時	# 月 日まで □ での他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	年 月 日まで □ せの他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分 年 月 日まで □ その他 ( ) 時 分~ 時 分

受 理	届出		受	理		本人	休暇の販	て消 し	等の期	間		400	(裏面)	
年月日	年月日	校長				印	年 月 目		時 間			備	考	j
							年 月 日から	時	分~	時	分			
							年月日まで	時	分~	時	分			
	6.0						年 月 日から 年 月 日まで	時時	分~ 分~	時時	分分			
							年月日から	時	分~	時	分		-	
							年月日まで	時	分~	時	分		- 5	
							年 月 日から	時	分~	時	分			
	II turn					100	年 月 日まで	時	分~	時	分			
	110000						年 月 日から	時	分~	時	分			
	1000						年 月 日まで	時	分~	時	分			
				1 1 1	1 10 10	9.0.1	年 月 日から	時	分~	時	分			
							年月日まで	時	分~	時	分			
	6.1						年 月 日から 年 月 日まで	時時	分~	時時	分分			
							年 月 日まで 年 月 日から	時	分~	時	分		-	
	2000		0.0				年月日まで	時	分~	時	分			
							年 月 日から	時	分~	時	分		-	
2.12	* .						年 月 日まで	時	分~	時	分			
							年 月 日から	時	分~	時	分			
	100.00						年 月 日まで	時	分~	時	分			
							年 月 日から	時	分~	時	分			
	40.00				122		年 月 日まで	時	分~	時	分			
							年 月 日から	時	分~	時	分			
	里の欄の職						年 月 日まで	時	分~	時	分			

改
正
案

# 別表第六

別表第6 (第17条関係)

	技術	Record of Purk 業の 点 器を請求します。   Record of Purk 業の 別間の延長を請求します。   Record of Purk 業の別間の延長を請求します。   日生   日生   日生   日生   日生   日生   日生   日	校 名 年 月 日から 年 月 日から 年 月 日から 手 月 日から 手 月 日から	6	1	וט		4	co	10			-	000	
( 年度の音児体業の東認   日	株 変 の 承 認 を	株	株		5	曲	した	既に育児休業	求 期	請求の内容			請求に係る子	つとおり育児 が	
表します。 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	校 職 職 策の承認 □ 育児休業の期間 第の承認 □ 育児休業の期間 育児休業の期間の再度の延長3 禁が必要な事情を記入すること。 年 月 日から 年 月 日から 年 月 日から	校 名	校 名		育児休業の期間					(再度の育児休業 までの子の育児休		年月		大業の承認を請 後の期間の延長を請	
	校 教 職	校 名	校 名 職 名 工 月 日生 等児休業の期間の延長 等児休業の期間の再度の延長 で記入すること。) 日から 年 月 日から 年 月 日から 年 月							、 育児休業の期間の 業が必要な事情を言			-41	**します。	

る智児休業をいう。 第2条の19第2年間、1980年に成立の1980年に成立の1980年に成立の1980年に成立した。 名智児休業をいう。 第2条の19第3年間以後の期間とし、「1 請求に係る子」欄の記入及び認明書類の語付は、出生後、速やかに行うこと。 4 「5 配偶名」間は、非常動画資が1歳とりませつぞの有児休業又は1歳らか月までの子の育児休業をしようとする場合(条例<u>第2条の3第2号又は第3号</u>に掲げる場合に該当して育児休業をのよ認を請求する場合(条例<u>第2条の3第2号又は第3号</u>に掲げる場合に該当して育児休業をの表認を請求する場合(集成計算を表現に出版体収)学校職員の勤務時間、依職等に関する規即第2条第1項第1号に掲げる場合における特別代収入は労働品等と認識情報に係る子の出生の日から57日間に、職員(当該期間内に出版体収)学校職員の勤務時間、依職等に関する規即第2条第1項第1号に掲げる場合における特別代収入は労働品等と認識情報に係る子の出生の日から57日間に、職員(当該期間内に出版体収)学校職員の勤務時間、依職等に関する規即第2条第1項第1号に掲げる場合における特別代収入は労働品等と認識情報、表に係る子の七生の工程が多場合におりる場合にあってはその長名、請求者との議解及び生年月日、(2)請求に係る子が養子の場合にあっては美子課組の効力が生じた日、(3)請求に係る子が養子の場合にあっては当該定義問題が開始した、養計する若文は条例第2条の2年度は一を表でるる場合にあっては当該定義問題が開始した。 日又は委託を受けた日、(4)請求に係る子以外の子について現に肯児休業の承認を受けている場合にあっては当該では関係では、1980年間では、1980年により、1980年間では、19

ついて記入すること

該当する口には 4印を記入すること

			瑪		行		
777							
別表第6(第17条関係)	閲係)						
	育児休	業角	馬馬	米		無	ш
埼玉県教育委員会	秦			校職	名名		
<b>₩</b>	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			开	8		
次のとおり育児(	改のとおり育児 休 業 の 承 認を請求します。	#					
	氏 名						
1 請求に係る子	統柄						
	生年月日		揃	A I	世		
	口 育児体業の承認			青児体業の期間の延長	9延長		
	□ 再度の育児休業の承認	の承認		育児体業の期間の再度の延長	り再度の延	XIII	
2 請求の内容	(再度の育児休業、育児休業の期間の再度の延長又までの子の育児休業が必要な事情を記入すること。)	育児体業の期間の再度の延長又は非常動職員の1歳6か月 きが必要な事情を記入すること。)	間の再度を記入っ	その延長又に ドること。)	<b>计常勤</b> 職	100	版6か月
3 請求期間		年	H H	8 W B	年	Ħ	世来
4 既に育児休業		#	H	日から	年	Э	# d
をした期間		疳	H H	日から	華	H	は事
	飛 名						
の配置を	育児体業の期間	年	Д	∃å×õ	年	ш	ェ ※ け
6 備 乾							
(注) 1 三の請求 に係るもの。 類(医師又)	この請求書(非常劉職員の任期の更新等に伴う再度の者児休業及び者児休業の期間の経長に係るものを除く。)には、請求に係る子の氏名、請求者との総柄及び生年月日を証明する書類(原師又は別報師等等)又はその写しを添わすること。 類(原師又は別報師等等行する担任(崔)証明書等)又はその写しを添わすること。	の更新等に 係る子の氏 ほ (産) 証明	半う再度 名、請求 (書等) ラ	の 育児休業 者 と の 続柄 と (は そ の 写 ) ま た の そ の	及び育児の 及び生年月 及び生年月 を添付す	大学の無いません。	間の延長近期する書
る首児休業をいう。 3 子の出生前に請 来に係る子 鰡の1 4 「5 配偶者」 4 「5 配偶者」 子の首児休業をし	水に輝大される人となった。	、場合は、「3 請求期間」欄は出産予定日以後の期間とし、「1 請求期間」欄は出産予定日以後の期間とし、「1 請求期間」欄は出産予定日以後の期間とし、「1 請求婚職職員が1歳2か月までの子の育児休業又は1歳6か月までの子の場合(条例第2条の2第2号又は第3号)に掲げる場合に該当です。	間」をは 出年後、 お月まで たの2第	周  欄は出産が定日以後の期間とし、「1 出生後、速やかに行うこと が月までの子の育児休業以は1歳6か月ま 後の2第2号以は第3号) に掲げる場合に	3以後の期 デラニと。 休業又は1 3号) に株	聞とし 歳 6ヵ 島げる場	、「1 請 ・用までの 場合に該当
5 「6 備考」構	「6 編名」議には、(2)請求に係る子が養子の場合にあっては、「たを養者する場合(当該語」に、「6 編名」議には、(1)請求に係る子の出産の日から57日間に、職員(当該期間内に出産休暇(学校職員の勤務時間、水に係る子の出生の日から57日間に、職員(当該期間内に出産休暇(学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則第12条第14第1号に掲げる場合における特別体別文は労働基準は第56条第2項に掲げる場合における休暇をいう」により勤務しなかった職員を除く。」が当該語条約2項に掲げる場合における休暇をいう。」にあつてはその氏名、調水者との第末に係る子について最初の第分が生じた日、「60つにはその氏名、調水者との議権及び生年日日、(2)請求に係る子が養子の場合にあっては養子稼組の効力が生じた日、	に係る子以 に係る子以 に、職員(2 第1号に掲 (2 東をいう。)	910 010 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に渡れない をに田高奈 におけぬ株 にありなか。 ) にもられ	子を装育す 眼 (学校展 別体暇又に が、 はその氏名 子線組の分	を	* (当該語) 物格時間、 (準法第65 が当該語 (者との続
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	並びに当該承認に係る子の氏名及び当該承認の請求に係る別面等について記入すること。 ままします。	予当該東路の	清水石	その期間等に	語という	470	14

## 別表第六の二 別表第6の2 (第17条関係) (H) 12 次のとおり育児短時間勤務の期間の延長を請求します。 埼玉県教育委員会 既 に 育 児 短時間勤務 をした期間 請求の内容 畲 勤務の形態 請求期 請求に係る子 現に菅児短時間勤務の承認を受けている場合においてはその旨並びに当談承認に係る子の氏名及び当談承認の請求に係る期間等について記入すること。 この請求書(育児短時間勤務の期間の延長に係るものを除く。)には、請求に係る子の氏名、請求者との総柄及び生年月日を証明する書類(医師又は助産師が発行する出生(産)証 求に係る子」欄の記入及び証明書類の添付は、出生後、速やかに行うこ 明書等) 又はその写しを添付するこ 養子縁組の効力が生じた日、(3)請求に係る子が特別養子縁組に係る監護期間中の者、養 てはその氏名、請求者との続柄及び生年月日、(2)請求に係る子が養子の場合にあつては 動務の日及び 該当する口には1印を記入すること。 子の出生前に請求する場合は、「3 請求期間」欄は出産予定日以後の期間とし、「1 請 時間帯 「6 備考」欄には、(1) 請求に係る子以外に小学校就学前の子を養育する場合にあっ 「動務の日及び時間帯」欄に掲げられていない日に勤務を希望する場合等当該欄により難 場合には、「6 備考」欄に必要な事項を記入すること。 噩 \* 禁 月火水木金 (育児休業法第10条第1項 「再度の育児短時間勤務の承認(再度の育児短時間勤務が必要な事情を 記入) 熊 A 生年月日 育児短時間勤務の承認 基調 育児短時間勤務承認請求書 燕 100 分勤務 # 冊 Н ш □第1号 □第2号 日から B DIE 日から 改 H 靈 京 併 □第5号 育児短時間勤務の期間の延長 H 正 Ħ # □第3号 H H 案 の勤務の形態) 日また 日まる 田まる п 別表第六の二 別表第6の2 (第17条関係) (注) 1 6 O 2 次のとおり 育児 短時 間勤務の承認を請求します。 埼玉県教育委員会 既 に 育 児 短時間勤務 をした期間 油 郢 勤務の形態 請求の内容 請求に係る子 証明書等)又はその写しを添付すること。 に係る期間等について記入すること。 該当する口には 2印を記入すること。 認を受けている場合においてはその旨並びに当該承認に係る子の氏名及び当該承認の請求 養子縁組の効力が生じた日、(3)請求に係る子以外の子について現に育児短時間勤務の承 難い場合には、「6 備考」欄に必要な事項を記入するこ 請求に係る子」欄の記入及び証明書類の添付は、出生後、速やかに行うこと 名、請求者との続柄及び生年月日を証明する書類(医師又は助産師が発行する出生(産) てはその氏名、請求者との統柄及び生年月日、(2)請求に係る子が養子の場合にあっては 勤務の日 及び この請求書(育児短時間勤務の期間の延長に係るものを除く。)には、請求に係る子の氏 子の出生前に請求する場合は、「3 請求期間」欄は出産予定日以後の期間とし、「1 時間帯 \* 「6 備考」欄には、(1)請求に係る子以外に小学校就学前の子を養育する場合にあっ 「勤務の日及び時間帯」欄に掲げられていない日に勤務を希望する場合等当該欄により 盡 H W 燕 月火水木金 (育児休業法第10条第1項 総 H 1 再度の育児短時間勤務の承認(再度の育児短時間勤務が必要な事情を 育児短時間勤務の承認 群園 年月日 育児短時間勤務承認請求書 挖 N 分勤務 # # 升 П □第1号 現 日から 日から 日から A 職 校 中 **休憩** □第2号 育児短時間勤務の期間の延長 H # 無 伟 行 П の勤務の形態) 日また 日まる 田まる ш

# | 別表第六の三~別表第六の五 (略

別表第六の三~別表第六の五

略

(1)「生年月月」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。なお、請求に係る子が請求の際に出生していない場合には、「生年月日」欄に出産予定日を記入し、口出産予定日に12年を記入すること。 (2)「養子縁組の効力が生じた日」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。 (2)「深夜において放業している」とは、深夜における放業日数が1月に3日を記入することをいう。 3日を超るることをいう。 3日を超ることをいう。 4について、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。 (2)「深夜において放業している」とは、深夜における放業日数が1月に3日を超ることをいう。 まを発音するために深夜勤務の制限を請求する場合には、当該請求に係る子が満6歳に達する日以後の最初の3月31日以前の日を制限終了日として請求すること。	備考 1について (1)「生年月日」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。なお、請 (1)「生年月日」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。なお、請 求に係る子が請求の際に出生していない場合には、「生年月日」欄に出産予定日を記 入し、「出産予定日」の□に 2月を記入すること。 (2)「養子穀組の効力が生じた日」及び「子の委託等が開始された日」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。 (1)この欄は、子を養育するために深夜勤務の制限を請求する場合のみ記入すること。 (1)この欄は、子を養育するために深夜勤務の制限を請求する場合のみ記入すること。 (2)「深夜において截業している」とは、深夜における戴業日数が1月に3日を超えることをいう。 3について この欄は、要介護者を介護するための請求の場合のみ記入すること。 4について 手を養育するために深夜勤務の制限を請求する場合には、当該請求に係る子が満6歳に強する日以後の最初の3月31日以前の日を制限終了日として請求すること。
4 請求に係る期間 の制版 年 月 日まで □ その他( ) 時間外勤 年 月 日から ※ 8の制版 □ 1年 □ 1年に満たない期間( 月) 備老 1 ごついて	2
月日から	
□深夜において就業している(深夜勤務の制限を請求する場合で、該当するときのみ記入)。  を請求する場合で、該当するときのみ記入)。  ・	□ 深夜において放業している。 □ 集員の配偶者で □ 負傷、疾病、身体上又は精神上の障害により養育が囚難である。 音が囚難である。 者の有無及び状況 □ 有 □ 産前6週間(多胎妊娠の場合にあっては、14 □ 川間)又は遊後8週間以内である。 □ 上記のいずれにも該当しない(養育ができる。)。
- W. II II	FF
氏 名 統 柄	A       B     B       B     B       A     B       B     B       A     B       B     B </td
風 の 世 田	□深収動務 □開収動務 □開収動務 □開収制務 □開火動務 □開火動務 □対9 条第2項 (同条第3項に 対いて準用する場合を含む。) □第9条第4項 (同条第5項に おいて準用する場合を含む。)
別表第6の6(第17条の3関係) 深夜勤務・時間外勤務制限請求書 年 月 日 校長 様	一年の 3 回転   一年の 3 回転   一
別表第六の六	-
現	改 正 案

-	Ш	ш	年	
_				深夜勤務·時間外勤務制限請求書
				表第6の6(第17条の3関係)
				<b>な答 ア の ア</b>
				文育につい
		行	行	現

改正案	
別表第六の七	別表第六の七
別表第6の7(第17条の4関係)	別麦第6の7(第17条の4関係)
育児又は介護の状況変更届	育児又は介護の状況変更届
年 月 日	年 月 日
校長 様	校束 櫒
学校名    職名	学校名 職名
氏 名 ⑪	氏 名 ⑩
私は、下記のとおり [□ 深 夜 勤 務] の制限に係る子の養育又は要介護者の介護 の状況について変更が生じたので届け出ます。	私は、下記のとおり 【□ 深 夜 勤 務】の制限に係る子の養育又は要介護者の介護の状況について変更が生じたのでお届けします。
1 届出の事由	1 届出の事由
(1) 養育の状況の変更	(1) 養育の状況の変更
□ 子が死亡した。	□ 子が死亡した。
□ 職員の子でなくなった。	□ 職員の子でなくなった。
□ 離縁 □ 養子縁組の取消 □ 家事審判事件の終了	( □ 離縁 □ 養子縁組の取消 )
□ 児童福祉法第27条第1項第3号の規定による措置の解除	□ 同居しなくなった。
□ 同居しなくなった。	□ 職員の配偶者で子の親であるものが深夜において状態として当該子を繋
□ 職員の配偶者で子の親であるものが深夜において常態として当該子を養	育できる者に該当することとなった。
育できる者に該当することとなった。	
	(2) 介護の状況の変更
(2) 介護の状況の変更	□ 要介護者が死亡した。
□ 要介護者が死亡した。	□ 要介護者と学校職員との親族関係が消滅した。
□ 要介護者と職員との親族関係が消滅した。	(消滅の理由: )
(消滅の理由:	□ 同居しなくなった。
□ 同居しなくなった。	2 届出の事実が発生した日
2 届出の事実が発生した日	年 月 日
年 月 日	
別表第七〜別表第十 (格)	別表第七〜別表第十 (佫)